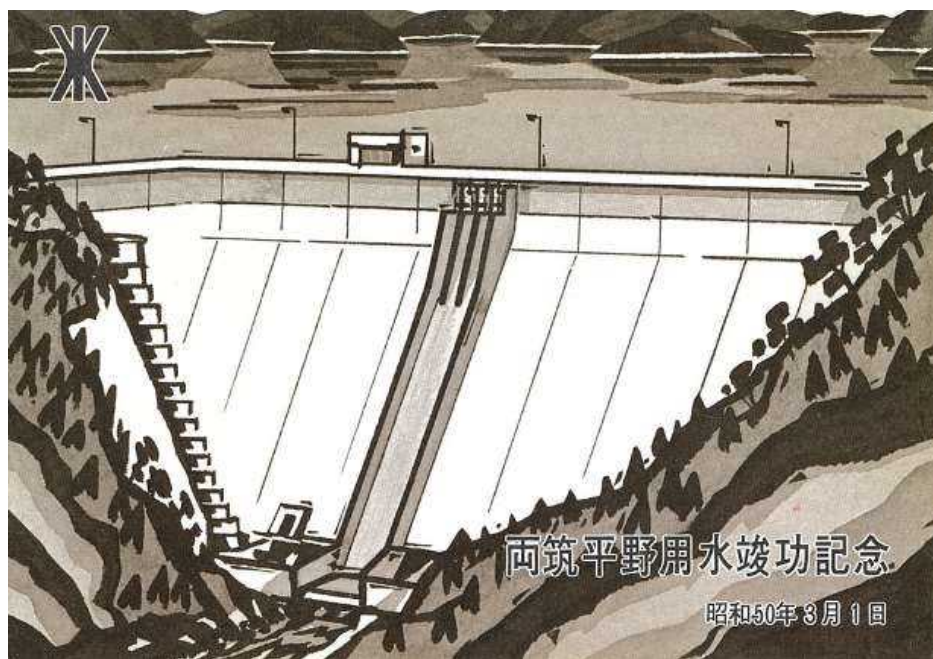


江川ダム管理開始50周年

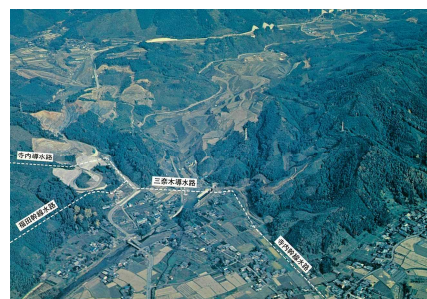
甘木市の中心部から、小石原川に沿って遡ること10キロメートル余り、ときに岩を噛み、ときに渾みに泡沫を浮かべて変幻極まりない溪谷の合い間に、豁然として開けた江川の里は、まさに山紫水明の地。

(塚本倉人甘木市長 江川民俗資料緊急調査報告書 発刊によせて より引用)

江川谷には多くの人々が暮らしていました。
おはらい 尾払、おおこうち 大河内、ばばの 馬場野、こうのごうち 高野河内、あゆがえり 鮎俣の5集落、87世帯404人、
公共用施設などが湖底に沈み、永遠にその歴史を閉じました。
ダム建設の歴史の1ページとして、集落の皆様への感謝とともに、
当時の江川谷の暮らしを展示いたします。



当時配布されたポストカードの封筒図柄



三奈木導水路付近と建設中の寺内ダムのポストカード



女男石頭首工取水施設全景のポストカード

筑後川水系の水資源開発（支川の小石原川と佐田川含む筑後川）は、両筑平野用水事業からスタートし、その水源である江川ダムは令和7年4月に 管理開始50周年 を迎えました。

関係者の方々に感謝するとともに、これからも防災、水の安定的供給を図ることなど通じて、豊かな社会の構築に貢献してまいります。

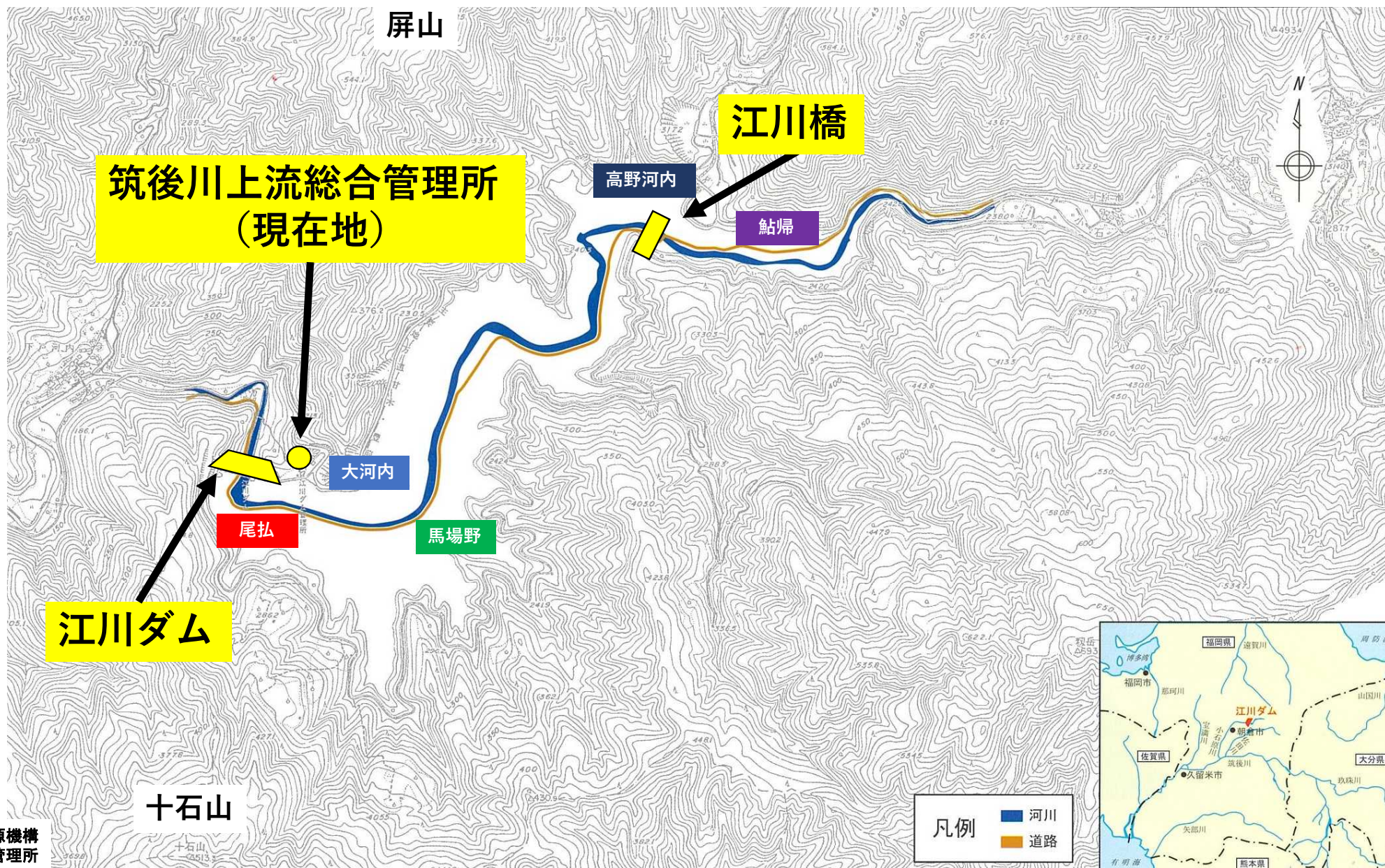


独立行政法人水資源機構
筑後川上流総合管理所

江川谷の集落



独立行政法人水資源機構
筑後川上流総合管理所



尾払地区

Oharai

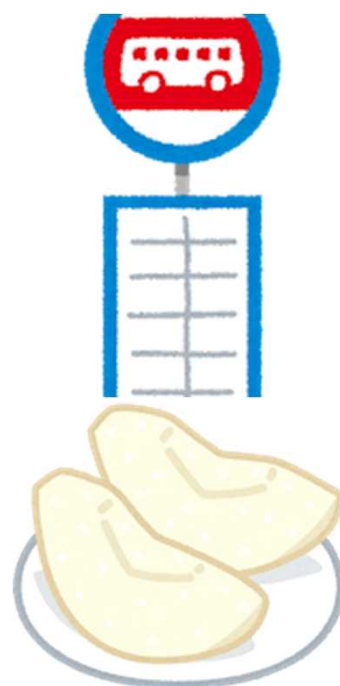
尾払地区は

十石山^{じゅっこくさん}（513m）の麓に位置した、
小石原川ダムの左岸集落で家が18
戸あったんだ。

一日バスは数本、このバスを利用
して甘木市街に行っていたんだ。

小石原川に沿った県道から尾払に
入る小道が続き、山腹の梨畑には
竹組の棚があったんだよ。

山肌を利用した梨栽培が盛んで、
梨江川中央出荷場では映画が上映
され、地区のみんなで楽しんでいたんだ。



筑後川上流総合管理所 公式キャラクター
父江ガモ

地区説明（子供向け）



独立行政法人水資源機構
筑後川上流総合管理所



尾払バス停



尾払は十石山の麓の集落。手前の竹組は梨畑

大河内地区

Okochi

大河内地区は
田んぼの広がる地域で家が18戸
あったんだ。今は、一番深い湖底
となっているんだ。

酒屋、紙屋と呼ばれた家や
集落を見下ろす背の高い松、
大ぎんなんがあったよ。

へいやま

背後に大きな屏山（926m）
を構えているが、その姿は
今も変わらない景色なんだよ。

住民の皆さんで別れを惜しむ
お別れ会が開かれたよ。



筑後川上流総合管理所 公式キャラクター
長女江ガモ

地区説明（子供向け）



独立行政法人水資源機構
筑後川上流総合管理所



大河内地区全景



大河内地区 お別れ会

馬場野地区

Babano

(江川小学校)



馬場野地区は
江川谷の中心で20戸の家があったんだよ。小学校や中学校、
そして、尾畑酒店という
お酒や塩などを販売する江川最上流
の店があったんだ。

高木神社の近くにバス停やバスの
車庫があり、運転手さんはそこに
宿泊して始発運転をしていたんだ。

小学校に上がっていく右手に
細長い自然石のオト様があったんだ。
※オト様とは山の神や観音堂と同様の
信仰の対象物のこと。

江川小学校校歌

作詞 岡部 重

作曲 高橋 暁夫



えがわの さと のー あけぼの は

江川の郷のあけぼのは
照る目に映ゆる深緑
樹々の姿と生いたそ
けだかく直ぐたまを
往こう世界の朝あけを
谷のもみじに霧が湧き
河内の石は 涙を打つ
清水の友を 呼ぶ声に
烈しく清くはるばると
伸びる日本を 夢にみる
高く真白くゆく雲を
望み遙かに肩を頼み
楽しく学ぶわが友よ
賢く強く健やかに
立とう江川の理想郷

【江川小学校校歌】





尾畑商店



バス停。馬場野はバスの折り返し地点



江川屋 食堂



オト様



尾畑商店



校庭



運動会



釣り堀大会



校庭にて



閉校式

高野河内・ 鮎帰地区

Konogochi

Ayugaeri

高野河内地区は

石垣を積み、宅地や田んぼを開いている地域で9戸あったんだ。

ここには、江川橋があり、橋を渡ると、中学生男子がやっと自転車に乗って上れるほどの坂道があったよ。

そして、石垣に竹束を立てかけ1月7日に「おおねびたき」を迎えるんだ。

また、茶畑でお茶の生産もしていたんだよ。

※「おおねびたき」とは正月の火祭行事で「鬼火焚き」のこと。

鮎帰地区は

昔、鮎が音を立てて上がってきたが、滝があり、これより上にのぼらず帰っていたことが由来の地域で、家は9戸あったよ。

今でも、江川ダムの貯水率が50%を下回ると宅地などの跡が見えるんだ。



地区説明（子供向け）



独立行政法人水資源機構
筑後川上流総合管理所



河野河内地区 全景



茶園（高野河内地区）



江川橋（高野河内地区）



石垣



「鮎帰地区」（9戸の集落）

この地には滝があり、遡上してきた鮎がこれ以上登れずに帰って行ったことから「鮎帰」の名前がついたとか。

江川ダムの記録

昭和42年	1月	両筑平野用水事業実施方針の指示
	3月	両筑平野用水事業実施計画の認可
	4月	農水省から水資源開発公団が事業継承
	12月	補償関係調査終了
43年	12月	損失補償基準提示
44年	3月	損失補償基準妥結調印（調印式）
	7月	江川ダム工事着手
45年	7月～50年	3月まで 女男石頭首工、幹線水路、寺内導水路工事完成
47年	8月	江川ダム工事完成
50年	3月	建設事業完了
50年	4月	管理業務開始

